

2020年度秋季東京都ミニラグビー交流大会を円滑に進行させるため、
レフリーを担当するすべての方をお願いしたいこと

東京都ラグビースクール校長会議（ミニ部門）
東京都大会小委員長 早川健人
（杉並少年ラグビースクール）

平素お世話になっております。
このたびは、レフリーをお引き受けいただき、ありがとうございます。
試合前日にはルールブックと「20201024 東京都スクール秋季大会ルール・レフリング事前伝達事項（中・高学年）.pdf」「20201024 東京都スクール秋季大会ルール・レフリング事前伝達事項（幼児・低学年）.pdf」に加え、この文書を読み返していただくよう、お願いします。

【代表者会議】

今年度の都大会は4会場に分かれますが、各会場とも全体代表者会議の後、カテゴリー別代表者会議を大会本部前で開催します。同時に**レフリーミーティング**もありますので、その日にレフリーをする方はできる限り、お集まりください。ミーティングに出た方は同じスクール内の出られなかった方へ、内容の伝達をお願いします。

【対戦する片方からレフリーを出す】

第1会場（23区）では組み合わせ表右側の、第2会場（多摩地区）では組み合わせ表左側のスクールのコーチがレフリーを務めます。対戦する2スクール以外から指名したレフリーが、時間通り来ないケースを防ぐためです。

試合前と後の礼は、ピッチ外で行います。

コロナ対策のため、今年は握手なしでお願いします。

キックオフは組み合わせ表左側のスクールが行います。試合前のじゃんけんはありません。レフリーによる試合前の諸注意もピッチ外でお願いします。

【タッチジャッジ】

タッチジャッジは、両チームから出してください。それぞれ自チームの進行方向左側を担当ねがいます。蹴られて動いたマーカールの位置を直すよう、心掛けてください。

【レフリーブリーフィングからキックオフまで】

レフリーから両チームへの諸注意は、**キックオフ5分前から**所定の位置で始めます。レフリー、タッチジャッジ、両チームの選手と責任コーチ各1人は遅れずに集まってくてください。**現在の試合と次の試合の選手の入場・退場動線を分けてコロナ対策**。

例：第1会場の中高学年の部の場合

第1試合開始5分前から、A～Eグラウンドの江戸川下流側のタッチラインの外のハーフウェーラインと交わる付近でレフリーミーティング

↓

両チームベンチは江戸川上流側のタッチラインの外。

両チームはレフリーBR終了後、グラウンドを横断して水筒をベンチに置いたら、グラウンド内に戻ってキックオフを迎える

↓

試合終了後、両チームはベンチを空けて退出

↓

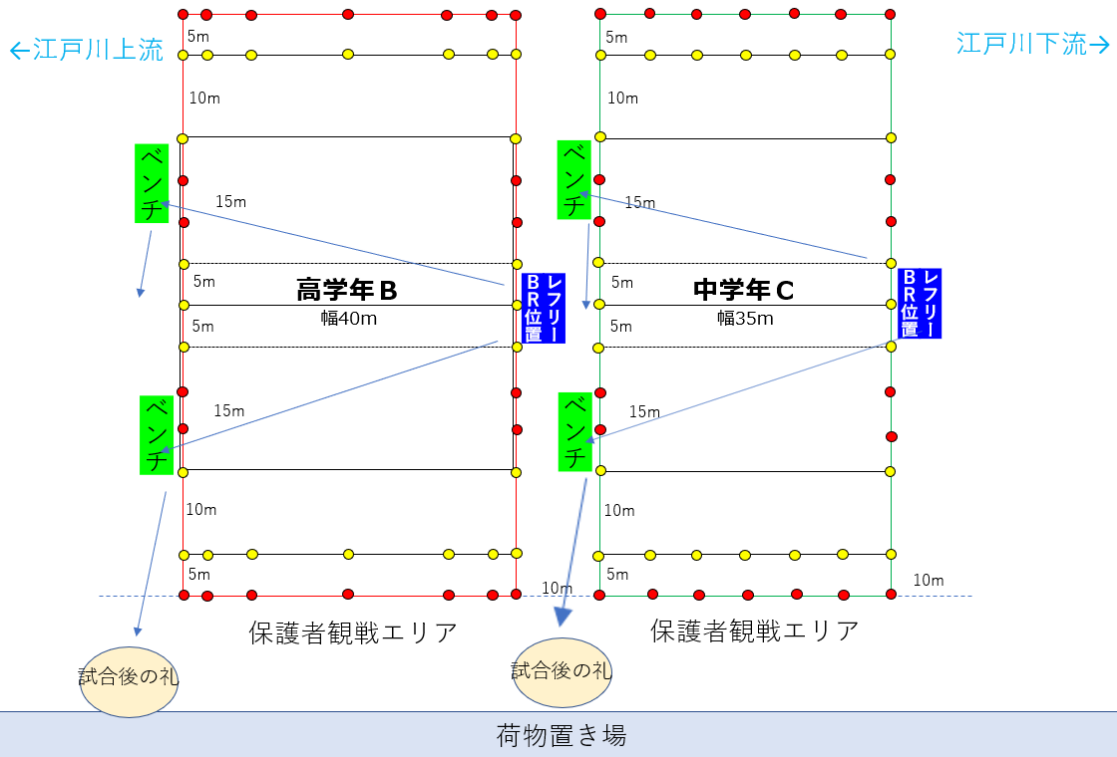
レフリーBRを終えた第2試合の両チームが、グラウンドを横断してベンチへ

↓

第2試合キックオフ。第1試合の選手はグラウンド外で礼。握手なし。以後、繰り返し

返し

レフリーブリーフィング（キックオフ5分前）からノーサイドまでの選手動線の例（一方通行）



【タイムキーパー制】

秋は日没が早いです。子どもたちがなるべく多くの試合をできるように、大会の進行を管理するため、各スクールから輪番でタイムキーパーを出します。

タイムキーパーは電波時計を使うか、現在時刻の秒数が表示されるサイト

<https://time.is/ja/Japan>

<https://www.nict.go.jp/JST/JST5.html>

などをスマホで開いて確認しながら、所定の時刻の「00秒」の瞬間に合図（電子ホイッスルの音を拡声器に乗せる予定です）を送ってください。

例：第1会場の中高学年の部の場合

タイムキーパーは第1試合開始の午前9時半ちょうどに鳴らす（キックオフ）

↓

第2試合開始1分前の午前9時42分ちょうどに鳴らす（ノーサイド）

↓

レフリーはプレーが途切れなくても、即座に笛を吹き、両チームをピッチ外に誘導

↓

両チームがピッチ外に出次第、第2試合のレフリーは自分の笛を吹いてキックオフ

↓

第3試合開始1分前の午前9時55分ちょうどに鳴らす（ノーサイド）

↓

以後、繰り返し

【試合結果の報告】

中高学年の部では1トライ5点、幼児・低学年の部では1トライ1点で計算した試合結果を終了後に大会本部に報告してください。自分の手元の記録に自信がなければ、両スクールのコーチに確認のうえ、報告してください。

試合結果は後日、東京都協会HPに掲載され、未来まで残る記録となります。